

シェムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
110

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出 陽子 (Yoko KOIDE)

1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シェムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年JST (NGO: アンコール人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を始める。2013年「アンコールの都の西北」に公立のバイヨン中学校を創設。2019年には高校も併設され、現在、全校生徒 630人の学校運営を行っている。

● JST ホームページ

<http://www.jst-cambodia.net>

Cafe Moi Moi 「コロナ禍で一時的休業」

これまで観光業で支えられていたシェムリアップは、新型コロナパンデミックによって一変しました。大型ホテルからゲストハウスまで宿泊業はほぼ休業状態。パストリート周辺はシャッター街と化し、飲食・土産物店は経営困難に陥っています。また観光ガイドやドライバーも仕事がなく、一部は宅配運転手に転じている人もいます。ですが、その需要には限界がありそうです。

私が経営するレストランでも、時間短縮を行い、スタッフを隔日出勤にするなど対策を行ってきました。しかし、今年度の団体客の予約はどれも実施の見込みが低く、さらに、以前の水準にまで観光客が戻るのには早くして2〜3年先、ということが見え始めた数カ月前から、一時的休業を真剣に考えるようになりました。

しかし、気がかりはスタッフたちの今後です。現在8人いるスタッフのうち5人は勤続10年〜15年と長く、ここまで愛着をもって店を切り盛りし、信頼できる



Cafe Moi Moiスタッフたち

スタッフがいたからこそその飲食店経営でした。今後、スタッフやその家族が路頭に迷うことはあってはならないですし、私自身としても、15年間苦楽を共にした彼女たちに感謝の気持ちを伝えたい。…こう考えた末、夫が保有している村の農地を分割して彼女たちに譲渡することにしました。なんだか戦国時代みたいですね(笑)。でも、カンボジアでは雇い主が雇用者に土地を分ける、ということはたまにある方法のようです。土地があれば家庭菜園も可能ですし、何か商売もできるかもしれません。何よりも、10年以上家族のように、いや家族以上に長い時間を共有してきた仲間同士、これからも仲良く暮らしていつてもえれば、とても嬉しいことだなあと思いました。スタッフたちがその土地をどのように使うか、それもひそかな楽しみです。そして、何カ月、いや何年先になるかわかりませんが、また皆様にお会いできるのときを楽しみにしています。15年間の感謝を込めて。